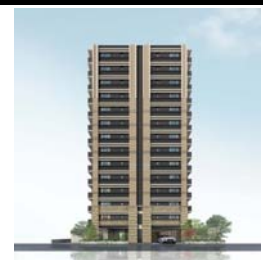


CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)長浜二丁目共同住宅プロジェクト	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市中央区長浜二丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	273 人
気候区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2015年7月6日
敷地面積	1,851 m ²	作成者	中尾 俊平
建築面積	928 m ²	確認日	
延床面積	10,162 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 3.1</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 2.1</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 3.4</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 3.9</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>空気環境、機能的な空間作り、敷地内環境、省エネルギー、敷地外環境への配慮にそれぞれ取り組んでおり、低炭素社会の実現に努めている。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>外観壁は断熱材を付けた防露壁とした。またシックハウス対策はF☆☆☆☆材料を採用した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>共用廊下、住戸内床は段差をなくし、バリアフリーに対処した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>建物を高層化することにより、建物周辺に空地を設け、採光・通風を確保した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>共用部照明は、タイムスケジュール制御とし、共用部・住戸内共、主要な照明はLED照明を採用した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>流し台等の水栓は節水型とし、便器も節水型とした。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>前面道路路界には囲いを設けず、歩道沿いに植込みを設け、道路と一体になるようなオープンな空間とした。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される